

## 大学名：奈良教育大学

ASPUnivNet の 4つの機能他	評価項目	事例記述
1. 学校のユネスコスクール加盟を支援します(加盟に関する相談も含む)	① ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	・ユネスコスクールへの加盟を希望する滋賀県草津市立玉川こども園を5月8日、9月20日、11月15日に訪問し、ESD研修を実施した。また、奈良学園小学校には3月21日に訪問し、相談に応じることができた。
	② ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	・キャンディデート校である大津市立仰木の里小学校を会場に、近隣の教員にも声をかけ、ESDティーチャープログラムを実施することが出来た。(6月3日、6月10日以上オンライン、8月25日午前、8月25日午後、11月11日) ・キャンディデート校である生駒市立生駒小学校において、全教員を対象にESDティーチャープログラムを実施することができた。6月3日、6月10日以上オンライン、7月24日、7月26日、8月30日)
	③ 地域の加盟済のユネスコスクールに向けてESD/SDGsをリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	・本学附属中学校を対象に、ESDティーチャープログラムを実施した。(6月3日、6月10日以上オンライン、8月31日午前、8月31日午後、12月22日後半) ・本学附属小学校を対象に、ESDティーチャープログラムを実施した。(6月3日、6月10日以上オンライン、7月25日、9月1日、12月22日前半) ・本学附属幼稚園を対象に、ESDティーチャープログラムを実施した。(6月3日、6月10日以上オンライン、7月28日午前、7月28日午後、12月26日)
2. 大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します	① 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援(資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど)を行うことができた。	・奈良県内の小中学校の依頼を受け、本学ユネスコクラブ学生が野外活動支援を行った。 奈良市立西大寺北小学校(5月31日)、左京小学校(5月17日)、三碓小学校(6月14日)、伏見小学校(6月15日)、富雄南小学校(9月21日)、平城小学校(6月28日)、都跡小(9月28日)、ならやま小学校(6月22日)、東市小学校(10月26日)、飛鳥小学校(8月20日)、飛鳥中学校(9月27日)、一条中学校(7月7日)、大和郡山市立片桐西小学校(5月16日)、安堵町立安堵小学校(6月27日)、キッズのびのびクラブ(9月27日)、奈良市スポーツ少年団(8月16日)(赤文字がユネスコスクール) ・奈良市生涯学習財団富雄公民館との連携事業として、8月6日に「大学生とSDGsを学ぼう」というワークショップを開催した。 ・SDGs未来都市でもある生駒市SDGs推進課と連携し、11月5日に市内で開催された「くらしのブンカサイ」でブース展示などを行った。それに先立つ企画会議(1回/2週間)にも積極的に参加し、大人を対象としたESDの普及に務めた。

	<p>② 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコスクールや教育委員会と連携し、以下 12 会場で ESD ティーチャープログラムを実施し、ESD ティーチャー138 名、ESD マスター24 名、ESD スペシャリスト 10 名を認証することができた。</li> <li>・鹿児島県屋久島町、熊本県菊池市、熊本市立天明中学校、愛媛大学、福岡市国際理解教育部会、和歌山県白浜町、大津市立仰木の里小学校、長浜市、生駒市立生駒小学校、奈良教育大学附属中学校、附属小学校、附属幼稚園</li> <li>・奈良県橿原市教育委員会と協働し、ESD を基盤とした初任者研修を実施した（8 月 29 日）</li> </ul>
	<p>③ 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。</p>	<p>奈良女子大学附属中等教育学校と連携し、アカデミック・ガイダンスプロジェクトに取り組み、SDGs をテーマとした全 8 回の出前授業を実施した。</p>
<p>3. 地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します</p>	<p>① 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催された奈良県人権教育改革委員会に参画し、奈良人権教育研究会の組織改革を SDGs を踏まえたものにするを提案するとともに、12 月 9 日には、「SDGs と人権」をテーマに ESD 研修会を開催した。</li> <li>・1 月 15 日に吉野郡校長会で ESD をテーマとした講演会を実施し、ユネスコスクールの意義について伝えることができた。</li> </ul>
	<p>② ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省近畿事務所、近畿地方 ESD 活動支援センターに協力し、学びあいプロジェクトで比叡山高校の実践事例をもとに、学校と NPO をつなぐポイントを伝えた。</li> </ul>
	<p>③ ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢市教育委員会及び金沢大学、北陸 ESD コンソーシアム主催で 2 月 10 日に開催された北陸 ESD コンソーシアム成果報告会に外部評価委員として対面で参加し、金沢大学との連携を促進することができた。</li> </ul>
<p>4. 国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します</p>	<p>① 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESD/SDGs 連続オンラインセミナー2023 を実施した。（10 月 14 日、11 月 11 日、12 月 2 日、2 月 24 日、3 月 9 日）参加登録者数：71 名</li> <li>・1 月 6 日・7 日に奈良教育大学・近畿 ESD コンソーシアム成果発表会・実践交流会を開催し、359 名の参加者を得ることができた。</li> <li>・2 月 17 日に ESD 国際シンポジウムを開催し、ユネスコ本部の諸橋淳 ESD 課長の基調講演のほか、韓国、インドネシア、フィリピン、ウズベキスタンから、それぞれの国における ESD の現状を報告したり、シンポジウムで意見交流したりすることで、参加者の視野を広げることができた。会場出席者数 114 名、オンライン参加者数 103 名。</li> </ul>

	② 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	・12月4日・5日に長野県山ノ内町教育委員会及び信州ESDコンソーシアムと連携した教員研修を実施し、ESDを学ぶ信州大学教職大学院生と本学の教職大学院生の交流を促した。
	③ ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	本学が支援するユネスコスクールにおいてはグローバルな活動への支援の要請がなかった。
5. 大学内の活動	① 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	・2022年11月30日に大学内のFD研修会において、「ESD・SDGsと教育について考える①」研修会を開催した。 ・2023年2月27日に大学内のFD研修会において、「ESD・SDGsと教育について考える②」研修会を開催した。
	② 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	学部においては、ESD-SDGs 基礎論とESD概論が選択必修科目になっている他、ESDと世界遺産、ESDと防災、ESDと気候変動、ESDと学校教育、ESDと生活科・総合的な学習の時間、持続発展教育と文化遺産、国連SDGs入門などのESDをメインとした科目の他に、「ユネスコスクール推奨授業科目」として34の授業科目を位置付けている。大学院修士課程においては、SDGsと教育を共通コア科目に位置付けているほか、ESDと教育実践を集中科目で展開している。専門職学位課程（教職大学院）においては、学位授与方針に「持続可能な社会づくりの担い手」を育成する教員の養成を位置づけ、学校教育マネジメントコースにESDマネジメント領域を置き、専攻共通科目としてESD-SDGsの理論と実践のほか、ESDと総合的な学習の時間特講、ESDカリキュラムマネジメント、ESDと地域創生、SDGsフィールドワーク、ESDと郷土教育・総合学習を展開するほか、「ユネスコスクール推奨授業科目」として6科目を開講している。
	③ 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	特にユネスコスクールに対象化した調査活動は実施していない。
	④ その他	
6. ASPUnivNet のネットワーク機能の活用	① 加盟大学間で情報共有ができた。	・玉川大学、創価大学などが実施したオンライン研修の情報を本学関係者と共有した。 ・2月17日に実施した国際シンポジウムに、金沢大学、信州大学、静岡大学、琉球大学、多摩川大学、創価大学、宮城教育大学、などから参加をいただき。情報共

		有することができた。
	② 加盟大学間で連携した取組ができた。	琉球大学と連携し、オンラインによる ESD ティーチャープログラムを実施した。 信州大学、金沢大学と連携し、コンソーシアム活動の外部評価を行った。
	③ その他	

#### 自由記述

(1) 6. ASPUnivNet のネットワーク機能の活用についてです。「加盟大学間で」とありますが、例えば、国連大学が主催する SDGs-UP、関西 SDGs などの連携事業には、非加盟大学と SDGs にかかわる協働取り組みもあります（授業コンテンツの開発など）。「加盟大学間等」にさせていただけるともっと具体的な取り組みも報告できます。

(2) 企業との連携などの項目が必要かと思います。